

2つのテーマで 一般質問しました

一般質問とは？

年に4回だけ、1人1時間内で、市長や市の執行部にフリーテーマで課題を直接問いかけたり提案できる貴重な機会です

1. 「多文化共生のために、誰一人取り残さない情報提供を」

現状の課題

約5,000人の市内外国人への情報提供が不十分
転入時の案内資料の9割が日本語表記のみ
災害時の外国人対応の体制・フローが整っていない



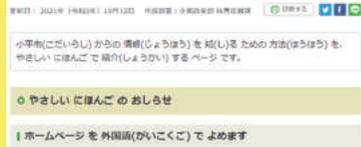
提案しました！

- 市ホームページにて、外国人の方向けのまとめページ・多言語での広報
- 転入時に外国人向け案内セットを！国際交流協会の案内をする
- 災害時マニュアルの見直し、外国人対応の追記・定期的な訓練

早速実現しました！！

市のホームページに外国人の方向けのページができました！
市報の多言語表記の案内・QRコードが掲載されるようになりました！
*その他、マニュアル等見直し検討中です。

やさしいほんごでのお知(し)らせ



前回の一般質問のテーマ

- 市民の雇用確保と一人ひとりに合った多様な働き方の実現を
- 動物と人が共生できる地域づくりを目指して(地域猫)

※地域猫とは不妊去勢手術をして、地域で適正に管理されている猫。片耳がカットされています。

2. 「子どもたちのかけがえのない体験の機会を守るために」

現状の課題

- 小学5年生の宿泊学習が無い(都内80%以上の自治体は実施)
- コロナ禍で体験の機会が失われている、チャンスが回しにくい
- コロナや猛暑の影響でプールにほとんど入れていない
- プールの老朽化で修繕費用も年々増加傾向



提案しました！

- 補助金等を活用して、小学5年生でも宿泊学習のチャンスをつくること
- 市営・民間屋内プールで通年水泳の授業が安全に実施できる環境整備を

決算特別委員会が開かれました

議員の仕事の一つに市の仕事が正しく行われているかのチェックがあります。令和2年度の市のお金の使われ方が適切だったのかを審査する決算特別委員会が開かれました。コロナ禍の交付金が不急のエレベーター工事・自動ドア設置に使われた年でもあり、就労支援や事業者支援も国や都頼り、困窮する市民への支援も不十分と指摘・判断しました。

※令和2年度一般会計
歳入は933億673万5000円・歳出は898億5262万9000円

9月議会で決まった主なこと

- 一般会計補正予算 第7号(約6.9億円)
 - 自宅療養者への緊急支援食料品の配布
 - 10月以降の新型コロナウイルスワクチン接種事業 等

- 一般会計補正予算 第8号(約29億円)
 - 市立小・中学校へのエアコン設置
 - 紙のスクラッチ付きクーポン券キャンペーン
 - 家庭学習のためのモバイルWi-Fiルーター貸与
 - スクールサポートスタッフ(外国語等)の配置
 - 高齢者肺炎球菌ワクチン定期予防接種の補助 等



- 自閉症・情緒障害 特別支援学級を設置することの請願が採択
 - マイナンバーカードを利用して、コンビニ等でも証明書の交付ができるようにする条例改正
- ※来年9月末で、証明書自動交付機での交付は終了予定です。